

水を取るところ

川から水を取り入れる



大山頭首工(愛知県・岐阜県)

ここが、ボクらのスタートラインなんだ。



川をせき止め、水位を上げて水を取り入れる(菊川頭首工/静岡県水士里ネット大井川右岸)

水を分けるところ

必要に応じて、水を分ける



3つに分かれる分水工(静岡県水士里ネット大井川右岸)

ここで、ボクらは分かれるんだ。



2つに分かれる分水工(同上)

水をためるところ

旱魃などに備え、水をためる



きれいに整備されたため池(同左)

水門の幅の違いもよく見てね。



水路やため池などの危険な場所では、遊んじゃダメだよ!



建物の中のハンドルで水門を開ける(同上)

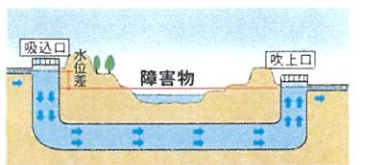
水を通すところ

障害物を避けて水を流す



吹上口(静岡県水士里ネット大井川)

だれが考えたんだろう? スゴイね!



サイホン構造の一例

とうしゅこう 頭首工

といいます。

頭首工とは、川などの流れをせき止めて、農業用水を水路に取り入れるための施設をいいます。このような施設は、地域での呼び名が取水堰とか、取り入れ堰などと言われています。



取水され水路へ流れ込む用水(菊川頭首工/静岡県水士里ネット大井川右岸)

ぶんすいこう 分水工

といいます。

幹線水路を流れる農業用水を、必要に応じて分流させる施設が分水工です。支線水路に対し、常に一定比率で配分する定比式、常に一定量を分水する定量式などがあります。



歴史ある定比式の円筒分水工(群馬県水士里ネット長野堰)

いけ ため池

です。

ため池とは、水田のかんがいの目的で雨水などを貯めるために築造された貯水池を総称します。

ため池は、その多くは古い時代に築造されたものと推定され、その数は約30万個といわれています。



空海の修業で知られる満濃池の修築地(香川県水士里ネット満濃池)

サイホン

といい、水路をつなぎます。

サイホンは、水路を障害物を避けて通す場合に用いられます。吸込口を吹上口より高くして水位差を設けると、通水管に落ちた水が下流へと流れます。川をくぐるものを「伏越」、水路橋のように川をまたぐものを「上越(通称)」といいます。



圧力差を利用し、河川を横断する水路橋の通溝橋(熊本県山都町) ※土砂吐き用の放水孔から放水しているところ

私たちの暮らしの中で、水路や農業水利施設は「こんな」役に立っています。



田んぼに水を運び、米を作ります。今も昔も、農業用水の使用量の大半を水田かんがい用水が占めています。



畑の野菜に水を届けます。ハウス栽培の普及により、畑地では、年間を通して水が使われます。



水に親しむ場を提供します。安全に整備された親水施設は、水にふれ、心なごむ場となっています。



生活用水として利用されます。清浄に保たれた水路の水は、農作物や農機具の洗浄に使われます。



防・消火用水にも使われます。水路やため池の水は、防火用水、また消火用水としても活躍します。



町並みを美しく演出します。維持・管理の行き届いた水路は、町の景観にも潤いをもたらします。



行事や憩いの場になります。水路沿いに植えられた桜並木が、各地で花見の名所になっています。



子どもたちの学習の場になります。水田での田植え体験、水路の生きもの調査など、学習の場は豊富です。



生きものの命を育みます。ため池や水路にはさまざまな生きものがすみ、生態系をつくっています。



雨水を排水し、洪水を防ぎます。水門の開閉により増水時の排水に水路を活用。洪水を未然に防ぎます。

エッヘン。ボクたち、スゴイでしょ!

